



クイックアップ キャンピー付テント K2P-B

サイズ(約)/開口×奥行×高さ

本体：204×167×110(cm)

インナー：200×120×95(cm)

安全上のご注意 必ずお守りください



●テント内では火気厳禁です。
●ガス、ガソリン、灯油、木炭、キャンドル、タバコなどの燃焼物、加熱器具を使用しないでください。
火災、一酸化炭素中毒の危険があります。



テントに裸火を近づけたり、近くで焚火、花火などをしないでください。
火災や損傷の原因となります。



安全な場所に設置してください。大木の下、崖の近く、水際や中洲、波打ち際での設置はしないでください。
落雷、落石、崖崩れ、増水等の危険があります。



寒冷地、降雪地では使用しないでください。
降雪によりテントの倒壊、破損、事故につながる危険があります。

※気温が2℃以下になると降雪の可能性あります。



強風、落雷、豪雨などの悪天候時、またそれらの状況が予測される場合は、設置、使用しないでください。
テントの破損、事故につながる恐れがあります。



設置上のご注意

- 出発前に一度組立を行い、部品の確認、設置、収納の手順を確認してください。
- テントは風等の影響で思いもよらぬ動きをします。人が傷を負う可能性や物質損傷の恐れがありますので、ご注意ください。
- 石や枝など、本品に傷つける恐れのあるものは予め取り除き、整地してから平坦な場所に設置してください。
- 設置は一人でもできますが、思わぬ傷害を予防するため二人以上で行ってください。
- ロックやスライドする部分で、手、指等を挟む可能性があります。手袋等をはめて安全に設置してください。
- ポールや本体フレームを伸ばす際、必ず周囲の人や物を十分注意しながら、空間を開けて、設置してください。
- 低温時に金属パーツには素手で触れないように注意してください。凍傷の恐れがあります。
- 必ずロープ、ペグを使用してフレーム、テントをしっかり固定してください。
- 本品から長時間離れたり、見張りができなかつたり場合、必ず撤去してください。本品が飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- 設置場所の環境により付属のペグで十分な固定が出来ない場合があります。設置場所の環境に応じて、市販のペグ等を購入のうえ、ご使用ください。特に柔らかい地面、砂地等に設置する場合は付属のペグでは固定力が弱い場合があります。場所や環境に応じた長さ、太さのペグを使用してください。
- ハンマーでペグ打ちする時は、手を打ってケガをしないようにご注意ください。

使用上のご注意

- 本製品は、キャンプ場等の整備された場所でファミリーキャンプ等を楽しむための使用を前提に企画、製造されています。常設用、山岳用としては使用しないでください。テントの劣化、破損、事故につながる恐れがあります。
- 表示人数以上で使用しないでください。破損や事故につながります。
- フライ生地、フロア生地は防水加工してありますが、長時間の大雨、集中豪雨時には水漏れする場合があります。またご使用により防水性が低下した場合は、市販の防水スプレー等を塗布してください。防水スプレーを使用する時は、防水スプレーの説明書に従い塗布してください。
- 生地は寿命は、取り扱い状況により異なります。紫外線の強い時期に設置したままにすると変色したり、傷んだりします。また濡れたままの状態での保管、殺虫剤等のスプレー等をかけた場合、変色、傷みの原因となります。
- テントの内側と外気温の温度差によりテント内に水滴がつく(結露する)場合があります。水漏れではありませんので、テント内の換気を行ってください。
- 雨が予想される場合は、床面の湿気防止の為、市販のブルーシート等を使用し設置することをお勧めします。
- 小さなお子様がいる場合は、安全に十分なご配慮をお願いします。お子様だけでは使用しないでください。

お手入れ方法

- 細かい目より、水が漏れる場合は、市販のシームシーラー(目止め液)処理を行ってください。
- テント生地が破れた場合は、市販のテント用リペアシートを利用し修理してください。

収納及び保管

- 収納時は、陰干しを行い乾燥させ、カビ等が発生しないようお手入れをしてください。
- テントを収納する時は、無理な取り扱いはしないように十分注意してください。
- 収納前に生地の破れ、フレームの破損等がないか各部を確認してから収納してください。異常がある場合は、必ず修理してから収納してください。
- 意図して、天候によって、本体を乾かせない場合、収納・保管する前にできる限り早く完全に乾燥させてください。色褪せやカビの原因となります。
- 収納袋を含め、本品は洗濯しないでください。汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取り、完全に乾かせてから、高温多湿、または極端に低温な場所などを避けて、保管してください。
- ポールやペグなどの部品も土や水を拭き取ってから収納してください。
- 子供の手の届かない場所に保管してください。

安全な設置について

設置場所について

- 「設置上のご注意」を読み、安全な場所に設置してください。
- 平地で水はけの良い風が弱い場所を選んでください。
- 雨が予想される場合は、床面の湿気防止の為、市販のブルーシートを下に敷きテントを設置することをお勧めします。またテントの周囲に水はけ用の溝を掘ることをお勧めします。
- 設置場所の石や釘、金属等の障害物は取り除いてください。テントに穴が開き水漏れする可能性があります。

株式会社 コメリ 〒950-1492 新潟県新潟市南区清水4501-1 Tel.025-371-4805 Made in China

■ パーツリスト

※組み立て前にパーツが揃っていることを確認してください。

①インナー x1



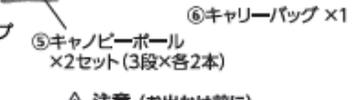
③ペグ x12
+予備1



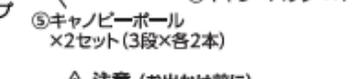
④自在ロープ
x2セット



⑤キャンピーポール
x2セット(3段x各2本)



⑥キャリアバッグ x1



■ 各部の名称

フレームポール フレームロック



▲ 注意 (お出かけ前に)

出発前に一度組立を行い部品の確認、設置、収納の手順を確認してください。生地
の破れ、縫製不良、フレームの破損、付属品の有無を必ずチェックしてください。

■ 組立方法

- ① キャリアバッグからインナーを取り出し、紐を取り外す。
- ② フロア面を下にし、インナーを広げ、フレーム下部の関節部分が直線になるように伸ばす。(4か所)
- ③ フレーム上部関節部分の手前の2か所を両手で持ち、関節部分が直線になるように外側へ広げる。
- ④ テント頂点のフレームロック部を両手で持ち、フレームロック部が水平になるまで、押し下げる。
- ⑤ テントの入口部を確認し、テントの設置場所や向きを決める。
- ⑥ 入口部の方向を合わせながら、フライシートをインナーの上にかぶせ、シート裏の紐をフレームポールに結び、4つの角にあるイージーフックをカチッとさせるまで、ロックする。
- ⑦ 付属したペグをテントの周囲に打ち、ロープのテンションを調整しながら、残りのペグで地面に固定する。



キャンピーの設置

- ⑧ 付属したキャンピーポール及び自在ロープを使用し、フライシートの前方部分をキャンピーとして活用することができる。

■ 収納方法

※必ず完全乾燥してから収納してください。

- ① 全てのペグを抜き、フライシートを取り外し、キャリアバッグのサイズに合わせて折りたたむ。
- ② インナーの出入口や窓を空気が抜けるように少し開ける。
- ③ フレームロックを上方向に押し上げ、ロックを解除する。
- ④ フレームポールの下部、そして上部の順で、関節部を軽く引っ張りながら、内側に折りたたむ。
- ⑤ フレームを芯にしてテントを丸め、紐で縛る。
- ⑥ たたんだフライシートやその他の部品を含め、キャリアバッグに収納する。



インターネット上でも動画で説明しています。はじめてご使用の際は、お出かけ前に必ず一度収納方法をご確認ください。

